

秦野市幼小中一貫教育各中学校区の実践例

西中学校区(3園3小1中)

西・ほりかわ・上幼稚園
西・堀川・上小学校
西中学校

「ピアサポートで互いに成長」



中学生が各小学校を訪問し、6年生とピアサポート活動(中学生がリーダーとなり、エンカウンター等を取り入れた活動)を行っています。小学生にとっては進学への漠然とした不安の解消、中学生にとってはリーダーとしての資質向上が期待されます。

北中学校区(1園1小1中)

北幼稚園
北小学校
北中学校

「幼小中合同の保育・授業研究会」



幼小中一貫して、「数量・図形等の感覚遊び、算数、数学」の保育・授業研究を行い、年4回、互いに参観し、意見交換を行っています。幼小中の教職員が協力して、子どもたちが学び合い、思考力や表現力を高めていけるような保育や授業をめざしています。

東中学校区(1園1小1中)

東幼稚園
東小学校
東中学校

「田原ふるさと公園で笑顔の交流」



中学校教諭による出前授業や合同授業研究などに取り組み、「伝えあい学びあう子ども」を育てています。七夕の集いでは、幼小中の子どもたちと保護者、地域の方が交流を深めるなど体験を通して子どもを育てることを大切にしています。

渋沢中学校区(1園1小1中)

しぶさわこども園
渋沢小学校
渋沢中学校

「里地・里山での異年齢交流」



年長児と小学校4、5年生と中学校2年生がそれぞれ里地里山での異学年交流を行っています。活動を通して上級生は相手を思いやることで自己肯定感を高め、下級生は上級生に対する憧れの気持ちを持ち、進級に対する不安を軽減するなど成果が見られます。

本町中学校区(2園2小1中)

本町幼稚園
・すえひろこども園
本町・末広小学校
本町中学校

「わくわくらんち」



小学校の図書室で栄養教諭の先生が本町幼稚園児に食の話をしています。その後は小学校の給食を「いただきます！」園児が早く小学校生活や給食に慣れ、同時に食に対する興味関心を高めるねらいで年3回行っているのが「わくわくらんち」です。

大根中学校区(2園2小1中)

大根幼稚園
・ひろはたこども園
大根・広畑小学校
大根中学校

「地域・園小中一体あいさつ運動」



あいさつ運動月間を設け、大根中学校生徒会が中心となり、地域や幼稚園・こども園・小学校・中学校が連携して合同あいさつ運動を3~4日間実施しています。子どもたちの学びや育ちの連続性を見通し、子どもたちの健全な成長を見守っています。

南中学校区(2園1小1中)

南幼稚園
・みどりこども園
南小学校
南中学校

「幼小中で連携する『主体的な学び』」



講師をお迎えし、アクティブ・ラーニングを踏まえた授業改善を学ぶ合同研修会を開催しました。[聴いて/考えて/つなげる]保育・授業等について語り合い、「主体的な学び」をテーマとして取り組んでいます。

南が丘中学校区(1園1小1中)

みなみがおか幼稚園
南が丘小学校
南が丘中学校

「あこがれの中学校生活に向けて」



中学校生活での楽しみの一つに部活動があります。そこで中学校入学前に児童の希望する部活動の体験を実施しています。優しく教えてくれる先輩との交流を通して、中学校に行くことが楽しみになったという声が多く聞かれています。

鶴巻中学校区(1園1小1中)

つるまきこども園
鶴巻小学校
鶴巻中学校

「校種を越えた学習参観」



園・小・中、各一回ずつ全職員を対象に保育・授業を公開しています。参観後は分科会を持ち、研究討議します。職員が校種を越えて学習や生活の様子を見合うことで、相互理解を深めると共にスムーズな連携を図っています。